

化学物質管理の強化

化学物質の管理体制

横浜ゴムグループは、2005年に「化学物質管理委員会」を発足させ、順法対応の確実な実施と共に、サプライチェーンを通じた化学物質の適切な管理や化学物質情報の円滑な展開を図ることで、管理体制の強化を進めています。また、既存の化学物質については、MSDSを柱に管理しており、PRTR対象物質の自主的削減活動をグループ内で推進しています。

REACH分科会が活動を開始

2007年6月から欧州向け製品に適用されたREACH^{*1}対応強化のため、化学物質管理委員会にREACH分科会を設けデータベースを構築するなど具体的な施策の検討を開始しました。

*1: REACH: Registration, Evaluation, Authorization and Restrictions of Chemicals (EU 規則案「化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規則案」)。

PRTR対象化学物質の削減

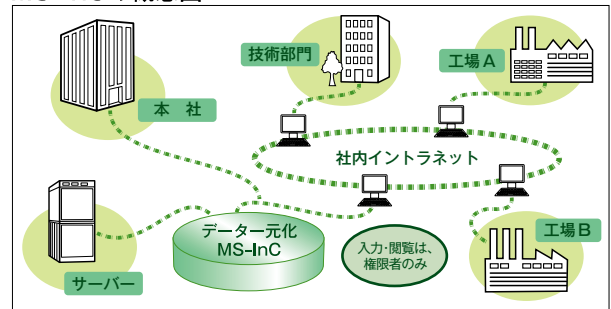
揮発性有機化合物 (VOCs)^{*2}削減に取り組み、PRTR対象物質であるトルエン、キシレンを含むゴム揮などの使用削減を実施した結果、2006年度はVOC規制の基準年(2000年)比49%削減となりました。三島、新城工場はトルエン、キシレン削減の結果、安全性影響度^{*3}が2年連続して改善しま

「MS-InC」によるデータベース管理を開始

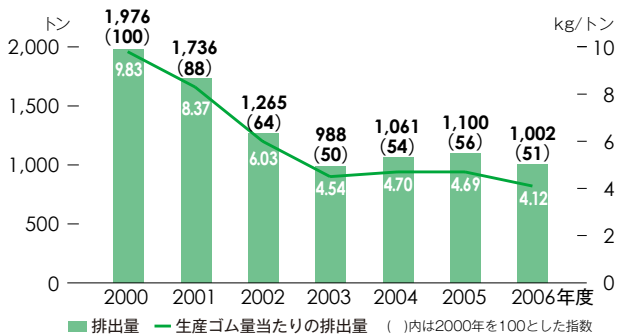
サプライチェーンを通じた調達先及び調達品を調査し、購入原材料における鉛やカドミウムなどの環境負荷物質の含有の有無、含有量の把握を行っています。得られた情報は、社内独自開発システム「MS-InC(エムエス-インク)」により一元管理し運用しています。同システムは、本社、設計開発の技術部門及び全国8工場で情報を共有化できるようにしました。

*MS-InCは、Material Management System Information of Chemicalsの一部から命名しました。

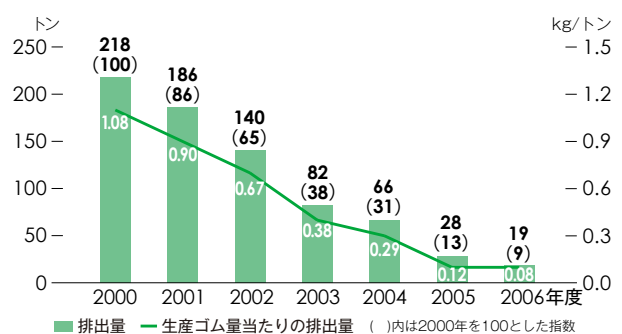
MS-InCの概念図



有機溶剤(VOCs)排出量



トルエン排出量(国内全事業所)



*2 VOCs: 大気中に排出、または飛散したときに気体である有機化合物。
*3 神奈川県「化学物質の安全性影響度の評価に関する指針」を参考にして算出した「人の健康」と「生態系」への安全性影響度ランキング。詳細をWeb(<http://www.yrc-pressroom.jp/env/>)に公開しています。